

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586026501	科目番号 / Course code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Course title	B4社会とマスメディア / Role of Mass Media in Modern Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	言葉や映像・画像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等のメディアを取り上げる。その中で伝えるための言語表現・非言語表現の工夫を理解するとともに、それらを批判的に受け取り、論理的に考える態度の育成を図る。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアが社会の事象をどのように取り上げ、表現するかを理解することができる。(8、10、11、12)</li> <li>・マスメディアからの発信をどのように受信すれば良いかを理解することができる。(3)</li> <li>・自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できる。(1、4、5)</li> </ul> (括弧)内は、対応する全学モジュール目標の番号		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(5点×7回)+グループワーク・プレゼンテーション課題(10点×3回) 試験(30点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やパワーポイント作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートや動画など作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	マスメディア、オウンドメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的思考、自己表現		
教科書・教材・参考書/Materials	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。 必要に応じて、新聞記事などの資料を配布。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。 グループメンバーとの協働に積極的に係る姿勢があること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	今の社会、ひいては将来の社会を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人一人は、異なる意識や視点、そして経験を持っています。そうした“個”の表現を意識するとともに、社会という“公”の表現の中で対応する力をつけるために、本モジュールでは、私たちが“公”の社会の中で“個”としてどうやって生きていくのか、マスメディアについて学ぶことで考えます。これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。株式会社オーセンティ代表取締役として政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。 日本放送協会(NHK)・日本テレビ(NTV)系列局という公共放送・民間放送局での勤務経験があるほか、商業出版、新聞や雑誌での連載など、現在もマスメディアに関わっている経験を持つ教員が情報制作者側の意図について解説。学生のメディアリテラシー習得を目指す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	11月26日(木) オリエンテーション
第2回	11月26日(木) 自己紹介
第3回	12月3日(木) 学生生活とメディア
第4回	12月3日(木) 多様なメディア
第5回	12月10日(木) 新聞・雑誌
第6回	12月10日(木) ラジオ・テレビ
第7回	12月17日(木) 情報の伝え方 : わかりやすく・正しく伝えるために
第8回	12月17日(木) 情報の伝え方 : わかりやすく・正しく伝えるために
第9回	1月7日(木) 私にとってのフロントランナー
第10回	1月7日(木) フロントランナーとしての私
第11回	1月14日(木) 社会と情報発信
第12回	1月14日(木) 社会と情報発信
第13回	1月21日(木) マスメディアとソーシャルメディア
第14回	1月21日(木) マスメディアとオウンドメディア
第15回	1月28日(木) まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586026701	科目番号 / Course code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Course title	B4心と社会 / Mind and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部シンフォニー 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の昼休み、もしくは木曜日の3限 その他はメールで確認を		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	臨床心理学の視点から、言葉の果たす役割とコミュニケーションへの理解を深める。また、社会の一員として人々の多様性を理解し、アサーティブに自己を表現する方法や適切に相談する意義を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションを支えることばの意義を理解することができる。</li> <li>○さまざまな対人関係の困難を理解し、適切な相談の意義を理解することができる。</li> <li>○多様な表現を使って、適切なコミュニケーションができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度・演習 (40%), 小レポート (30%), まとめのレポート (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前) 授業に使用するプリントを印刷し、不明な用語などを調べる。(2h) (事後) 講義内容に関連した新聞記事等を読み、講義内容を振り返る。(2h)		
キーワード/Keywords	カウンセリング、臨床心理学		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。授業時に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	グループワークや演習を多用します。		

学生へのメッセージ/Message for students	心理学や教育学は、一部のみにだけ役立つような内容ではありません。私たちの生活は人との関わりなしには成り立ちません。私たちは知らず知らずのうちに人に育てられ、人を育てていくのです。そのことを意識し、何気ない関わりを大切にできるような対人関係の素地づくりをしていきたいと思ひます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション	B
第2回	自己紹介・他者理解	A B
第3回	構成的グループエンカウンター?@	B C
第4回	構成的グループエンカウンター?A	B C
第5回	前回の振り返り	A B
第6回	こころの発達について	A B
第7回	いろいろなコミュニケーション 言語・非言語	A C
第8回	傾聴訓練	B C
第9回	対人関係の困難について?@	A B
第10回	対人関係の困難について?A	C D
第11回	グループワーク?@ 問題の発見及び調査方法の検討	A B
第12回	グループワーク?A 内容に関するグループディスカッション	B D
第13回	発表?@	A B
第14回	発表?A	A B
第15回	授業の総括	A D
第16回	まとめのレポート	A D

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586028701	科目番号 / Course code	05860287
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15191_005		
授業科目名 / Course title	B4社会と教育 / Education in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko, 酒井 友文		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko, 酒井 友文		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kouikeda nagasaki-ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(池田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2234		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール対応(随時) kouikeda nagasaki-ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学力、いじめ等支援を要する児童への対応、防災教育等、現在日本の教育が抱えている課題について理解するとともに、グローバル化、超少子高齢化等、急激に変化する社会の中で求められる教育の在り方や自身が身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Course goals	教育課題及び教育現場の現状・取組みについて理解する。(?!J?K) 職業人、社会人、家庭を築く人として教育にどのように向き合えばよいかを理解する。(D?F) 教育に対し自分の意見を持ち、自ら学びに向かう力を高めるための実践ができる。(A?C?E)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内課題(32点)+授業外課題(18点)+協議等への参画・態度(10点)+試験(40点)=100点のうち、60点以上を合格とする。なお欠席した回数が3回を上回る場合は失格とする。また毎時授業終了後は自己評価の提出を求める。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次時のテーマに関連した課題を提示し事前学習の成果を提出させる。		
キーワード/Keywords	求められる学力 家庭・地域社会・学校の連携 危機管理(子どもの心と命)		
教科書・教材・参考書/Materials	学習指導要領、教育委員会等行政機関が発行している資料、新聞・インターネット等で取りあげられている記事及び配布資料等		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やがて改めて教育と向き合う時がきます。教育を通して見える社会、社会の変化を通して見える教育の姿を協議を通して深めたいと考えています。次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として求められる資質・能力について考える機会にしましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 10月2日(金)	教育の現状・課題(社会の変化に伴う教育)	A B
第2回 10月2日(金)	教育の現状・課題(社会の変化に伴い求められる資質・能力)	A B C
第3回 10月9日(金)	求められる学力(全国調査問題等から)	A B C
第4回 10月9日(金)	求められる学力(課題作成:自らに求められる資質・能力)	A B C
第5回 10月16日(金)	学校における危機管理(命を守る教育)	A B C
第6回 10月16日(金)	学校における危機管理(児童理解といじめ問題)	A B
第7回 10月23日(金)	支援を要する児童生徒(児童福祉法と要保護児童の捉え)	A B C
第8回 10月23日(金)	支援を要する児童生徒(特別支援教育の視点から)	A B
第9回 10月30日(金)	家庭・地域の教育力(家庭教育・貧困の連鎖)	A B
第10回 10月30日(金)	家庭・地域の教育力(コミュニティースクール)	A B
第11回 11月6日(金)	ふるさと教育とグローバル社会(ふるさと・地域課題を振り返る)	A B C
第12回 11月6日(金)	ふるさと教育とグローバル社会(求められる資質・能力)	A B
第13回 11月13日(金)	教育を通して見える未来(キャリア教育の視点から)	A B C
第14回 11月13日(金)	教育を通して見える未来(「心を育む」指導略案づくり)	A B C
第15回 11月27日(金)	社会と教育まとめ(教育の不易と流行)	A B D
第16回 11月27日(金)	テスト(小論 2題予定)	A